

【Guitar】 吉田 次郎



福岡生まれ。5歳でピアノ、6歳でクラシックギターを始める。15歳の時にジョン・コルトレーンを聴きジャズに興味を持ち、大学入学と同時に上京し、スタジオミュージシャンとしてプロ活動を始める。83年アメリカ合衆国バークリー音楽院に留学。卒業後は同学院の講師を勤めた。89年本格的な音楽活動をNEW YORKに移し、ブレッカーブラザーズ、エディーゴメスなどコアなJAZZから、ジョー・サンプル、マイケル・フランクス、リッキー・リー・ジョーンズ、ポールマッカートニー、シンディローパー、セルジオ・メンデス、フィービー・スノウといったポップ・アーティストのツアー・サポートまで幅広く活動してきた。日本においてもケイコリー、ケミストリー、福山雅治、浜崎あゆみ、マリリン、相田翔子、山形由美、須川展也などJ-POP, JAZZ, クラシックに至る迄その活動は多岐にわたる。参加アルバム数はプロデュースを含め膨大で約10000枚に及ぶ。95年よりNational Geographic社(世界最大のドキュメンタリー番組や映画作品を製作する会社)の記録映画の音楽を担当している。コマーシャル分野に於いても編曲能力をかわれ多数の映画やTV CMのオーケストレーションを担当し、シカゴ響・LA響・ロンドン室内管弦楽等と共演。2000年、キングからポリスターレコードに移籍し、インスト・アルバムとしては大ヒットになった「イン・マイ・ライフ」を発表。世界的に有名なギターメイカー”タカミネ”よりJIRO YOSHIDA シグネチャーモデルが発売される。2003年5月、国際連合ニューヨーク本部から日本人としては2人目の国連WAFUNIF親善大使に任命される。7月7日には国連本部内オーディトリウムに於き任命式と記念コンサートが開催された。2003年10月20-24日、NHK人気番組『公園通りで会いましょう』のウイークリーホストを勤め、1週間に及び多彩なゲスト(八代亜紀、三宅裕司、他)と共に吉田次郎ワールドを繰り広げさらに彼の才能が、お茶の間に浸透した。2005年インターネットにおける人気ギターリスト第1位に輝く。2009年1月よりサンヨー乾電池エネルギーのイメージキャラクターとしてTVコマーシャルに出演している。2009年5月ディビットサンボーン、ランディーブレッカーを起用したニューアルバムPL ATONIC発売、2011年サンヨーエネルギーTVCMがコマーシャル大賞を受賞、吉田はすべての音楽を担当している。2011年4月15日”THE LOOK OF LOVE”。2011年9月今陽子28年ぶりにリリースされたアルバム『恋の季節』をプロデュースしヒット作になる。同年11月相田翔子6年ぶりのアルバム『一輪』の作曲、プロデュースを担当する。最新作は2012年”FOR WINTER”9月には教則本と連動した『JIRO YOSHIDA PLAYS SOLO JAZZ GUITAR』発売予定。今年10月には相田翔子25周年コンサートツアーの音楽監督を担当する。また近年は日本代表するベース坂井紅介との探求のデュオを意欲的に展開し活動している。ナイロン弦、スチール弦のアコースティックギターや、エレクトリックギター等の、あらゆる種類のギターを使ってクラシックからヒップ・ホップまで様々な奏法を使った彼のステージは、エンターテインメント溢れたもので、ジャズに関心の無い人達をも惹きつけて離さない魅力を持っている。今後ますます世界中で注目されるアーティストになるであろう。